

MIP教育プログラム(マンションIP化に係る教育プログラム)を開始



BSS委員会 委員長 瀬澤 外茂幸

NPO法人東京都セキュリティ促進協力会（政本猛理事長）は防犯設備士委員会で実施する防犯アドバイザースキルアップ講習として、公益社団法人日本防犯設備協会（BSS委員会とRBSS委員会）との打合せにもとづき、MIP教育プログラムを9月10日行いました。

この教育プログラムは、防犯優良マンション申請にIP-IF対応防犯カメラシステム（いわゆるネットワークカメラシステム）が今後増加するので、設計審査や竣工審査に必要な防犯映像ネットワーク部やIP-IF対応防犯カメラなどの設備に関する技術スキルを習得するもので、BSS委員会がRBSS委員会の協力で教育プログラムを作成しました。マンションだけでなくIP導入の初歩講座にも活用できます。

今回はプレ講習会として30名の受講者を対象とし

ましたが、東京都セキュリティ促進協力会は今回の結果内容もふまえて、今年中には100名規模のスキルアップ講習会を計画されています。

講習は日本防犯設備協会RBSS委員長の三澤賢洋氏が、実機協力と研修は(株)日立国際電気の技術者である細川昇氏が行いました。防犯映像ネットワーク部の講習には、RBSS委員会の防犯カメラネットワークWG（光仙リーダー）が作成した「防犯カメラ設計のガイド」も使用しています。

昨年度IP-IF対応防犯カメラなどの機能拡大がRBSSで実施され、各社出荷率も大きく伸びています。

メガピクセルなどの高画質な画像も扱えるとあって、防犯設備士にとっては今後重要な防犯設備になるのは間違いなく、NPO法人大阪府防犯設備士協会とも実施検討を行っています。

【講習風景 RBSS委員会委員長 三澤賢洋講師】



【実機風景 株式会社 日立国際電気の実機】



【実機研修風景】



MIP教育プログラム：

- 1) RBSSとIP-IF導入の困難さと期待
- 2) 防犯カメラ
- 3) デジタルレコーダ（防犯用）
- 4) 防犯用映像ネットワーク部
- 5) 演習と回答
- 6) 実機研修